

2月度 例会 個人 山行報告書		報告者	竹内幹雄	参加 メンバー	CL:藤田健治 塚本英吾 竹内幹雄
		報告日	02 / 14		
山 域	南信州	山行日	09 年 02 月 06 日 (金)		
山 名	大川入山				

山行目的	雪上歩行	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙:集会 担当者

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 浪合

2/6 晴れ
8:45 登山口 P (あらかぎ高原スキー場)
9:45 1300m
10:20 1570m
11:30 1770m
12:00 分岐
12:48 頂上 (大川入山)
13:30 頂上出発
14:14 分岐
15:15 1570m
16:15 登山口 P

山行報告 刈谷を早朝 6:20 に車で出発。豊田南 IC から豊田勘八 IC、R153 で治部坂方面に向かう。2 時間程で登山口のある、あらかぎ高原スキー場に到着、準備をして出発する。積雪が少なく人口雪で整備されたスキーゲレンデの左脇を歩くと第二リフトの中ほどの端に登山口の標識が見えてきた。ここから頂上に向かう。登山道は雪が良くしまっていて歩きやすい。数日前に付いたと思われる踏み跡があり、それを辿って進む。雑木林の中を進むとやがて九十九折になった急坂となり、これを登りきったところで尾根道と重なるが緩やかな登りである。標高 1724m 地点まで進むと大川入山の頂上が見えてきた。ここから 45 分ほどで分岐に到着、頂上まではもう一息である。ここから 100m 余り鞍部に下って、さらに登り返して頂上に向かう。頂上近くまで登ると霧氷で木の枝には氷の層がびっしり付いて見事である。そして、出発から 4 時間ほどで頂上に到着。空は雲ひとつない快晴で雪をまとった南アルプスがはっきりと見える。空気が澄んでいて、まさに絶景を楽しむことができた。早速お湯を沸かしてカップラーメンを食べ、しばらく休憩をしながら、頂上に辿り着いた喜びを楽しむことにした。下山は登ってきた登山道をそのままピストンで下りていく。登山口を抜けてゲレンデ横を通過した時に、スキー場を整備している人から今年は雪が少なく、気温も例年より高いとの話を聞かされた。例年なら登山道は雪が膝まで入るほどあるが、今回は良くしまった雪の上を歩き、また頂上の雪もこの時期にしては少ないと思いました。

確認 (リーダー)
藤
09/02/12
田
作成 (報告者)
竹
09/02/12
内

リーダー所見 無性に雪の上を歩きたくなり計画した。07 年 4 月の笈ヶ岳膝骨折以来の雪山で、正に天地人に恵まれ南北中アルプスの眺望には感激の一言につきる。急な呼びかけに答えてくれた両氏には先ず御礼しなければならない。ラッセルを覚悟しての入山であったが楽をさせてもらい今年の異常気象には感謝の一日であった。次が楽しみ。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

大川入山頂上からの眺望